

米原市こどもの意見聴取 実施概要

1. 関係団体ヒアリング調査

対象者	子育て・教育関係団体
実施方法	ヒアリングシートをメール等で配布・回収し、必要に応じて直接ヒアリングを行う。
実施時期	令和6年6～7月
設問	米原市の現状・課題、子ども・若者の居場所について、困難を抱える家庭の状況、支援の状況・課題 など
反映方法	現状・課題の把握、困難を抱える子ども・家庭の把握、地域における取組み、連携体制の検討

2. こどもヒアリングシート

対象者	居場所や施設等に通っている子ども、中学校生徒会
実施方法	ヒアリングシートA4・1枚、団体を通じて配布・回収
実施時期	令和6年7～8月
設問	この場所に来ることについて、こんな場所があったらいい、生活の中で楽しいとき、困っていること、相談について、将来の夢など
反映方法	課題の把握、支援の方向性の検討

3. ワークショップ

対象者	放課後児童クラブに通う子ども
実施時期	夏休み期間中（8月22日に開催）
進め方（概要）	1グループ4～6名程度でグループ分けを行い、模造紙やワークシートと付箋を用いてテーマに沿った意見を出し合う。最後はグループごとに発表し、意見共有を行う。
スタッフ	ファシリテーター：ジャパン総研 各グループ内進行：市職員、放課後児童クラブ支援員など
テーマ案	「こんなまちになったらいいな」を話し合う ①自分の住んでいるまちの好きなところ ②あったらいいなと思うもの・場所
反映方法	将来像へ反映、子どもの声として掲載

1. 関係団体ヒアリング調査

米原市こども計画策定のためのヒアリング調査 ご協力をお願い

日頃から市政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、令和2年3月に「第2期米原市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て家庭への支援に取り組んできました。このたび、少子化社会対策、子ども・若者育成支援、子どもの貧困対策を含む「こども計画」の策定に向け、総合的な見直しを進めております。

この調査は、米原市の子育てにかかる現状と課題をより詳細に把握するため、子育てに関する取組を実施するまたは支援する団体などの皆様を対象に実施するものです。

大変お忙しい中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和6年7月 米原市

【回答期限】 令和6年7月23日（火）

メールかFAXにてご返信ください

ご回答にあたってのお願い

- 本調査票では、子どもや若者を取り巻く課題や現状をお伺いします。それぞれの問について、個人を特定できない範囲でできるだけ具体的に回答してください。
- 付属資料として既存の資料がある場合は、添付してください。
- 本調査票はマイクロソフト Word で作成しています。データ入力の方が都合の良い場合は、様式データを提供いたしますので、下記の【問合せ先】にご連絡ください。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【問合せ先】

米原市 子育て支援課 電話：0749-53-5131 FAX：0749-53-5128

メールアドレス：kosodate@city.maibara.lg.jp

1 団体について

問1 貴団体の活動について教えてください。

① 団体名		
② 調査記入者氏名		
③ 連絡先	電話	
	FAX	
	E-mail	@
④ 団体の活動内容		貴団体の主な活動内容を教えてください。 (関連資料を添付していただいても構いません。)
⑤ 活動の対象者 (いくつでも)		1 乳幼児 5 高校生・大学生 2 就学前児童 6 子育て中の保護者 3 小学生 7 その他 () 4 中学生
⑥ 活動範囲		1 米原市全域 2 米原市の一部地域 () 3 その他 ()

2 子ども・若者、子育て家庭の現状について

問2 米原市の子ども・若者、子育て家庭を取り巻く課題について、日頃の活動を通じて、気になっていることがあれば教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1 保育・教育環境について	7 障がいのある子ども・若者について
2 家庭の環境について	8 外国につながる子ども・若者について
3 虐待について	9 子どもを取り巻く犯罪・事故等について
4 ひきこもりや不登校について	10 子ども・若者の意見を聞く機会について
5 体験機会や居場所について	11 その他
6 貧困、ヤングケアラーについて	()

問3 上記で選択した項目について、具体的な事例や問題とを感じる点についてご記入ください。（番号を選び、具体的な内容をご記入ください。）

項目番号	事例・問題点

問4 活動を通じて、子ども・若者や子育て中の保護者の方自身から、活動への意見や市への要望等、生の声を聴く機会がありますか。(○はそれぞれ1つだけ)

子ども・若者自身	子育て中の保護者
1 いつも聴くことがある	1 いつも聴くことがある
2 ある程度聴くことがある	2 ある程度聴くことがある
3 あまり聴くことがない	3 あまり聴くことがない
4 まったく聴くことがない	4 まったく聴くことがない

問4で、「1 いつも聴くことがある」「2 ある程度聴くことがある」と回答した方におたずねします。

問5 意見はどのような内容が多いですか。(具体的な内容をご記入ください。)

区分	具体的な意見内容
子ども・若者自身から	
子育て中の保護者から	

問6 活動する中で、子ども・若者からの相談や意見を聞く際に工夫していることがあれば教えてください。

--

問7 子ども・若者が安心して過ごせる居場所には、どのような視点・機能が必要だと思いますか。

可能な限り日頃ご支援にあたっている子ども・若者のご意見を踏まえてお答えください。

3 困難を抱える家庭の状況について

貧困やそれに伴うさまざまな困難を抱えていると思われる家庭（以下、困難を抱える家庭）の子どもや保護者の状況について、分かる範囲で教えてください。

問8 困難を抱える家庭において、貧困以外にどのような背景や特徴がみられますか。
（あてはまるものすべてに○）

1 ひとり親家庭	6 保護者のDV被害経験
2 未婚	7 保護者の障害・疾患
3 多子世帯	8 子どもが家事や介護を担っている
4 外国籍	9 その他
5 保護者の虐待被害経験	()

自由記載欄：上記の具体例などについて記入してください。

問9 困難を抱える家庭の保護者には、生活や就労、子どもとの関係でどのような特徴がみられますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 住環境・生活環境がきちんとしていない | 6 子どもに対して無関心 |
| 2 生活習慣に乱れがみられる | 7 地域や周囲との人間関係（関わり）が希薄 |
| 3 計画的な金銭管理ができてない | 8 親・親戚との人間関係（関わり）が希薄 |
| 4 就労状況があまりよくない | 9 その他 |
| 5 子どもとの会話やふれあう機会が少ない | () |

自由記載欄：上記の具体例などについて記入してください。

問10 困難を抱える家庭の子どもには、生活面や学習の様子でどのような特徴がみられますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 欠食・生活習慣の乱れの傾向がみられる | 5 家庭や地域での居場所がない |
| 2 身なりが整っていない | 6 友人との関係がうまく築けていない |
| 3 学習習慣の欠如の傾向がみられる | 7 子どもが障害・疾患を抱えている |
| 4 不登校・中途退学の傾向がみられる | 8 その他 () |

自由記載欄：上記の具体例などについて記入してください。

問 11 貧困に伴い、子どもにどのような影響や課題が生じていると感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1 心身の健康への影響	5 自己肯定感・自尊心の低下
2 基礎的学力への影響	6 就職・就労への影響
3 進学の迷いや断念	7 その他
4 社会性・自立能力の育成への影響	()

自由記載欄：上記の具体例などについて記入してください。

4 支援の状況・課題について

問 12 子ども・若者やその家庭に対して支援を行う際、工夫している点がありますか。また、課題となっている点がありますか。

工夫している点	
課題	

問 13 課題のある子どもや家庭を、他機関につなぐことはありますか。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 つなぐことがよくある | 3 あまりつなぐことはない |
| 2 時々つなぐことがある | 4 つなぐことはない |

問 14 つなぐことがある場合、どのような内容で、どのような機関につないだかなど

具体的に記入してください。

また、他機関と連携する上での課題があればご記入ください。

問 15 さらに子ども施策の充実のために、米原市が取り組むべきと考える支援・制度・連携等について、ご意見・ご要望がございましたらご自由にご記入ください。

調査は以上となります。

お手数ですが、本調査票は **7月23日（火）** までにご返送ください。

お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。

2. こどもヒアリングシート

こどもの意見ヒアリングシート

米原市では、現在「米原市こども計画」をつくっています。この計画は、子ども・若者への支援、少子化対策などの多くの内容を含んだ計画で、令和7年度から開始する予定です。

計画の当事者であるみなさんのご意見を、計画づくりやまちづくりに生かしていきたいと考えていますので、ふだんみなさんが考えていること、将来のことなど、以下の質問について、ご意見をお聞かせください。

場所：

問1 この場所に来るのは楽しいですか？

1. 楽しい	3. あまり楽しくない
2. どちらかといえば楽しい	4. 楽しくない

問2 この場所に来るようになって、変わったことはありますか？

1. 楽しいと感じる時間が増えた、気持ちが落ち込みにくくなった
2. 自分の気持ちを伝えてもいいと思うようになった
3. 初めて知ったことや、興味をもったこと、好きになったことなどがあった
4. 自分のことを大切にしてくれる人やサポートしてくれる人がいると感じるようになった
5. それまで知らなかった人、話したことがなかった人と会った
6. 以前より、誰か困っている人がいるとき、サポートするようになった
7. 変わったことはない
8. そのほか（ ）

問3 米原市に、「こんなものがあつたらいいな」「こんな場所があつたらいいな」ということがあれば教えてください。

問4 ふだんの生活の中で楽しいとき、ほっとするときはどんなときですか？

問5 今、困っていることはありますか？

1. はい	2. いいえ
-------	--------



それはどんなことですか？書けることだけでいいので教えてください。

--

問6 困っている時に頼れる人はいますか？

1. はい	2. いいえ
-------	--------



それは誰ですか？思いつくかぎり書いてください。

--

問7 悩みや困りごとについて、どのような相談方法なら相談しやすいですか？

--

問8 あなたの将来の夢、やってみたいことは何ですか？

--

問9 自分のやりたいことをするために、大人の人に手伝ってもらおうとしたら、どんなことを手伝ってほしいですか？

--

こどもの意見ヒアリングシート

米原市では、現在「米原市こども計画」をつくっています。この計画は、子ども・若者への支援、子どもの貧困対策、少子化対策などの多くの内容を含んだ計画で、令和7年度から開始する予定です。

当事者である中学生のみなさんのご意見を、計画づくりやまちづくりに生かしていきたいと考えていますので、ふだんみなさんが考えていること、将来のことなど、以下の質問について、ご意見をお聞かせください。

問1 ふだんの生活の中で楽しいとき、ほっとするときはどんなときですか？

--

問2 あなたはこの先も米原市に住みたいと思いますか？（どちらかに○）

1. はい	2. いいえ
-------	--------



「はい」を選んだ人

その理由は何ですか？

--

「いいえ」を選んだ人

米原市がどうなれば、住み続けたいと思いますか？

--

問3 米原市の魅力は何だと思いますか？

--

問4 あなたの将来の夢、やってみたいことは何ですか？

問5 自分のやりたいことをするために、大人の人に手伝ってもらおうとしたら、どんなことを手伝ってほしいですか？

問6 あなたは、「子どもの権利」が守られていると感じますか？
守られている、または、守られていないと感じるときはどんな時ですか？

子どもの権利は、すべての子どもが心身ともに健康に育つために必要とされる権利です。大きく分けて「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」があります。子どもは大人に守られると同時に、ひとりの人間としての権利をもって、意見を表明することができ、大人はそれを考慮しなければいけません。

問7 どのような方法があれば、大人（学校や米原市など）に意見を伝えやすいですか？

問8 子どもや若者たちにとってより良い社会となるためには、何が必要だと思いますか？
また、大人や社会に対して、意見を言いたいことがあれば、ご記入ください。

ご回答ありがとうございました。

回答いただいた内容は、7月23日¹(火)までに先生通じてご返送ください。

3. ワークショップ

米原市こどもワークショップ

■目的

こどもまんなか社会の実現やこどもの権利を守ることが重要となっており、当事者である子どもたちの生の声を聴くことで、今後のこども施策に活かしていくことを目的とする。また、現在策定中の「米原市こども計画」へ意見を反映する。

■概要

実施日時	令和6年8月22日（木）
時 間	午後2時～
場 所	坂田第1児童クラブ（さかっこクラブ）
対 象	放課後児童クラブに通うこども 1回30人程度（5～6グループ）
進め方（概要）	1グループ4～6名程度でグループ分けを行い、テーマに沿ってグループワークを行う。
支援者 スタッフ等	ファシリテーター：ジャパン総研 各グループ内進行：さかっこクラブ支援員、市職員など

■ワークショップの流れ（イメージ）

【全体説明】

ワークショップ内容の説明

【自己紹介】

グループごとで、支援スタッフも含む
※ゲーム形式にすることも可

【ワークショップ】

テーマ：こんなまちになったらいいな

【発表】

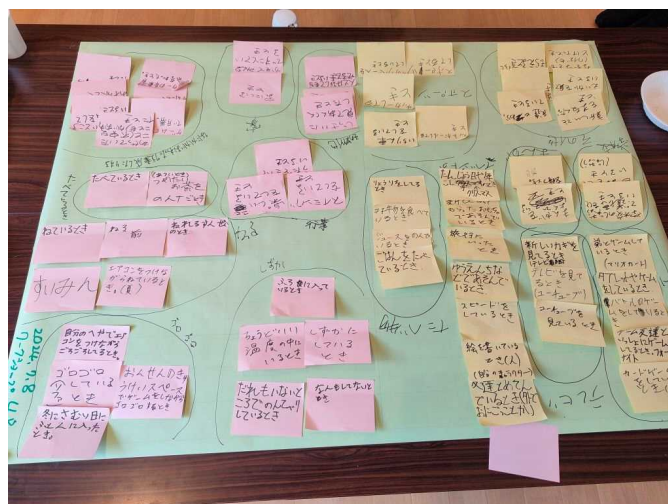
できあがった模造紙を見せながら発表



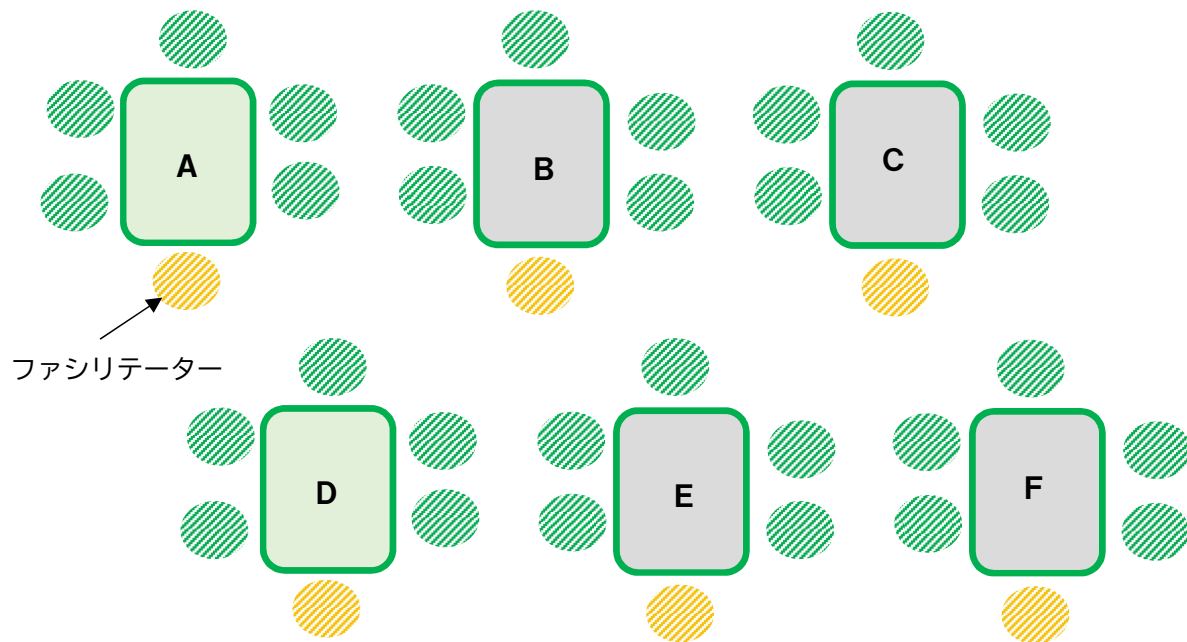
将来像への反映、施策検討に活用

■タイムスケジュール（案）

項目	実 施 項 目
会場準備	・ 会場準備：机配置、模造紙等準備
開会あいさつ	・ 事務局からのアナウンス
ワークショップ の概要説明 (5分)	・ ワークショップの進め方について説明します。
自己紹介 (10分)	・ グループごとに自己紹介 or アイスブレイクゲーム (スタッフ含む)
ワークショップ (30分)	①「自分の住んでいるまちの好きなところ」、「あったらいいな と思うもの・場所」を付箋に書いて紹介します。(文字でもイ ラストでも OK) ※付箋は色を分ける ②意見を分類しながら、みんなで理想のまちのタイトルを考え ます。
発表 (15分)	・ できあがった模造紙を見せながらグループごとに発表しま す。
閉会あいさつ	・ 事務局からアナウンスと閉会のあいさつを行います。



■テーブル配置（案）



■当日の準備物

資料	部数
運営プログラム	事務局、ファシリ分
名札	事務局、ファシリ分
模造紙	グループ分+予備
付箋	グループ分+予備
ラッシュオンペン（水性黒ペン）	参加者人数分+予備
プロッキー（水性色ペン）	グループ分+予備
お菓子、飲み物	グループ分
机（5～6人用）	4～6台

■取材依頼